送水・配水工程	送水・配水施設	1．ポンプ運転制御方式の改善(台数制御、インバーター等による回転速度制御、可動羽根制御等) 2．ポンプ容量の適正化（羽根車改造等） 3．高効率モータ、高効率ポンプ形式の採用 4．ブロック配水システムの導入 5．ポンプ制御の適正化（末端圧制御、送水系統の流量制御等） 6．漏水防止対策の推進 7．送・配水管路の分離による送水圧力の適正化 8．大・小容量ポンプの組合せによる幅広い需要量への対応 9．適正な配水池容量の確保による定量送水
総合管理	水運用管理	1．位置エネルギーを利用した施設整備 2．取水・導水・送水・配水における自然流下系統の有効利用 3．電力原単位及び管路損失等を考慮した水運用システムの導入 4．需要予測システムの導入
	監視制御システム	1．処理工程及び主要設備・機器単位ごとの電力計設置によるエネルギー原単位の分析 2．エネルギー管理システムの導入 3．省エネルギー型の監視制御装置（ＬＣＤ：液晶表示装置、ＬＥＤ表示灯等）の採用 4．配水管網への水圧監視システムの導入 5．広域的運用システムの導入（設備管理の一元化、集中監視等）
共通	受変電・配電設備	1．高効率変圧器（モールド変圧器、アモルファス変圧器、高効率変圧器、トップランナー変圧器等） 2．変圧器容量の適正化 3．変圧器統合による無負荷損の削減と負荷率の向上 4．高効率無停電電源装置の採用 5．力率改善(自動力率改善装置の採用等) 6．デマンドコントロール装置の採用
その他の主要エネルギー消費設備	空気調和設備、給湯設備、換気設備、昇降機設備等	空調熱源設備・システム： 1．高効率ターボ冷凍機の採用 2．ガスエンジンヒートポンプシステムの採用 3．高効率マルチエアコンの採用 4．氷蓄熱型マルチエアコンの採用 5．改良型二重効用吸収冷温水機の採用 6．外気冷房空調システムの採用 7．遠赤外線利用暖房装置の採用 8．全熱交換器の採用
		空気調和・熱源設備の最適制御： 1．予冷予熱時外気取入制御の導入 2．外気導入量の適正化制御の導入 3．冷温水送水設定温度の最適設定制御の導入 4．冷却水設定温度の最適設定制御の導入 5．空気調和・熱源台数制御の導入
		空気調和用搬送動力の低減： 1．水・空気搬送ロスの低減 2．羽根車吸込間隔の変更 3．配管内流動抵抗低減剤の導入 4．水和物スラリー空調システム（ＶＣＳ）の導入
		空気調和関係その他： 1．内壁・外壁・屋根・窓・床の断熱 2．建物の気密化 3．屋上緑化、壁面緑化 4．日射遮蔽（しゃへい） 5．空調ゾーニング最適化
		給湯設備： 1．自然冷媒（CO_2）ヒートポンプ給湯機の採用 2．高効率ヒートポンプ給湯機の採用 3．潜熱回収型給湯器の採用 4．ガスエンジン給湯器の採用
		高換高換効気率設備： 1．可変風量換気装置の採用 2．局所排気システムの採用
		換気量最適化： 1．CO_2又はCO濃度による換気制御システムの導入 2．温度センサーによる換気制御システムの導入 3．タイムスケジュールによる換気制御システムの導入